

令和7年11月21日

社会福祉法人はーとふる グループホーム ぱーる
地域連携推進会議 議事録

1、日 時

令和7年10月31日 13:00～15:00

2、場 所

社会福祉法人はーとふる ひばり 会議室

3、出席者

- ①利用者代表 Aさん（グループホームぱーる利用者）
- ②家族代表 Cさん（グループホームぱーる利用者家族）
- ③地域の関係者 Dさん（NPO 法人 「のだ・一粒の種」）
- ④福祉の知見者 Eさん（社会福祉法人野田市社会福祉協議会
野田市成年後見支援センター 係長）
- ⑤法人理事長 小林公平
- ⑥グループホーム管理者 名代京平
- ⑦グループホームサービス管理責任者 千田弘美
- ⑧グループホーム生活支援員 関広太

4、議題

- ①施設やサービスの透明性
 - ・事業所の取り組み
 - ・障がいについての説明
 - ・GH制度の説明
 - ・苦情解決、BCP事業継続計画、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会
洪水時の避難経路確保計画の情報共有
- ②利用者の権利擁護
 - ・事業所のGHの説明
 - ・施設見学
 - ・グループホームほっと利用者への質疑応答
- ③施設見学（ぱーる→東安→ほっと）
 - ・質疑応答
 - ・感想

5、議事録

- ・GHの金銭管理や通帳などについてどのようにしているか？

→現在は基本的には「預り金」という形で対応している。実際、将来的な金銭管理は課題。

ご家族が高齢になっていることも踏まえ、今後どのようにしていくか考えて行く必要がある。

後見人制度についても考えて行く必要がある。もし情報などがあればこちらも共有を

していただけたら嬉しい。

- ・自分の子どもはいくつまでグループホームに入っていられるのか？

→その人にとって安全ではない状況になったら次のステップに進む。自法人のグループホーム

自体が高齢者や医療ケアに対応した造りではないため、その人らしい暮らしができなくなってきたらその人らしく暮らせる環境は探していきたい。